

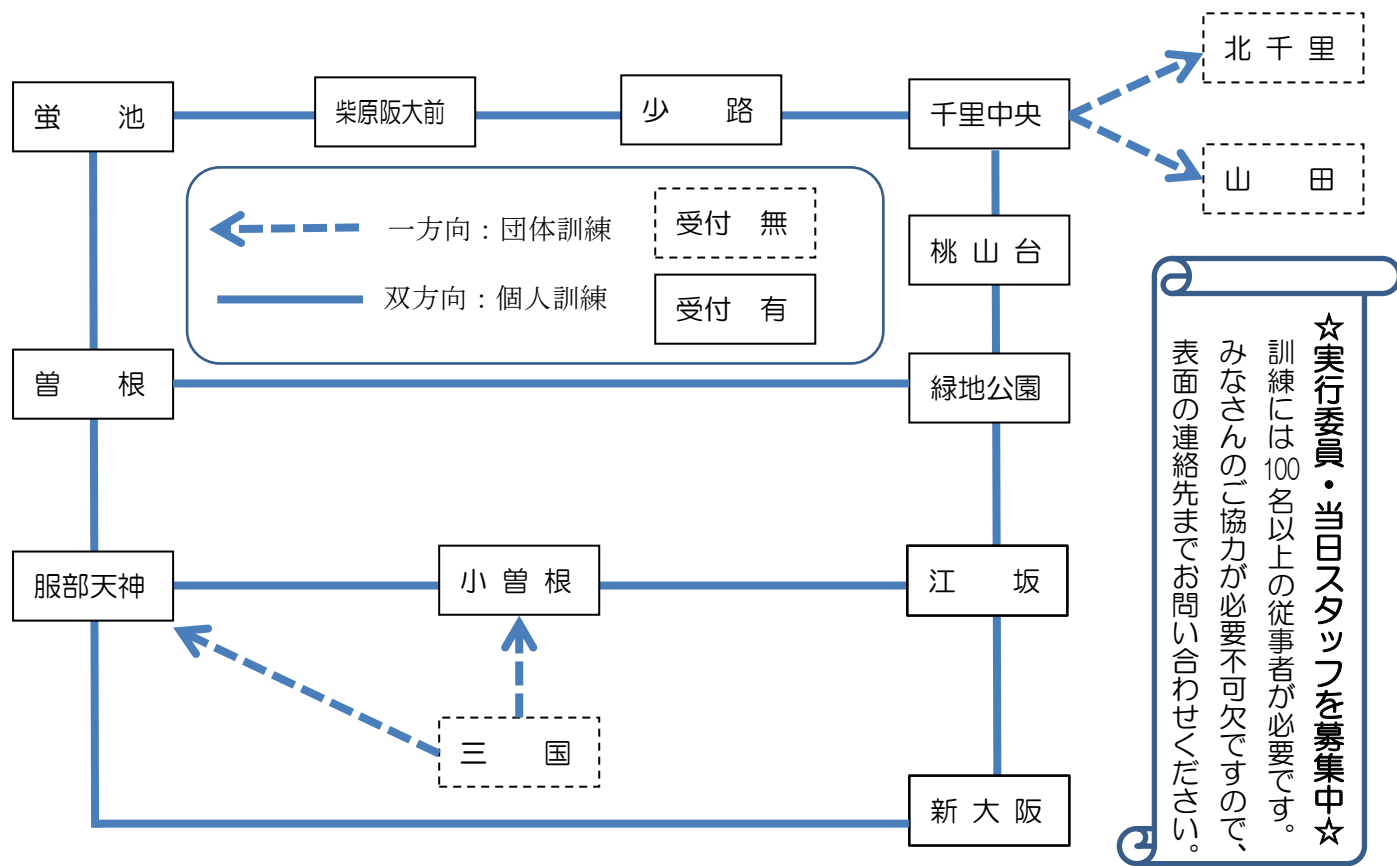
私たちは災害時帰宅困難者体験訓練を応援しています

【当訓練は企業からの協賛金によって実施しています、ありがとうございました（2024年度協賛企業、順不同）】

北大阪急行電鉄、豊能地区郵便局長会、三島地区郵便局長会、マクドナルド、ダスキン、せんちゅうパル、追手門学院幼稚園、エースコック、大阪モノレール、千西会、太鼓亭、千里しゃぶ亭、直原ウィメンズクリニック、愛和会、泉州電業、極東食品、肉のコバヤシ、大阪府北部コミュニティカレッジ、セントラルオフィス、新日通、三幸住研、BG みなみ、スターバックス、タリーズコーヒー、BODYMAKER、日下部機械、中西製作所、アクセルかいごタクシー、北おおさか信用金庫、東京海上日動火災、豊寿荘、シープラン、ネットヨタニューリー北大阪、まるんと、リピエーノ、熊野田幼稚園、みくま幼稚園、大正製薬、FiREFLY、RECREATE

【協力・協賛いただける企業・団体募集中】

当日配布のパンフレットに貴社名を掲載させていただきます、お問い合わせください。



※各駅に設置される受付ポイントについては、許認可が取れ次第、HPで発表させていただきます。

※訓練内容は変更になる場合があります、必ず申込時にHPで確認してください。

東日本大震災で帰宅困難者が発生し、この訓練がはじまった当時は「帰宅抑制」という考えはありませんでした。もし本当に被災したら、公共交通機関が復旧するまで安全なところで待機してください。帰宅抑制は必要ですが、現実的ではありません。従業員のために備蓄したり、宿泊スペースを確保したりできる会社は少なく、家族があれば帰宅したくなるのが人間心理ですし、子どもがいれば、帰らないわけにいきません。歩いたことがない道を歩いてみることで、ある女性は会社にもスニーカーを置くようになったそうです。「歩いて帰れないことを理解して、家族で有事の際の取り決めをした」という声も聞いています。

この訓練は、あくまで体験型の啓発であり、訓練をきっかけとして、災害時を想定して様々なことに気付くことが目的であり、歩いて帰るための訓練ではありません。